

女性客つかむ

シモジマの専門店「ラップル」

手作り意欲を 多彩な材料で

包装・店舗用品製造御のシモジマが運営する包装用品を主力とする専門店「ラップル」は、手作りを楽しむ人たちの増加を追い風に女性客が増えている。渋谷パルコ内で客層は20代が中心。ファッションの専門学校生や美大生、クリエイター志望者が多い。そのため既製品ではなく、創作意欲を刺激する多彩な材料が売れる。

商品点数は約8000点で、主力はデザインが豊富な包装紙やリボン、箱などラッピング用

品。人気商品はマスキングテープで600種類揃う。パーティー用の装飾用品や、パーティーで撮影した写真を収める手作リアルバムのスクラップブックング需要も根強い人気だ。

集客、販促に貢献しているのが売り場で週2、3回開く各種ワークショップ。材料込みの参加費は1000円から1万円まで。最も人気なのは、消しゴムをカッターなどの道具を使って好きなデザインに彫る「消しゴムハンコ」を作るイベントで、すぐに定員に達する。参加費は3000円で、同店にある専用の消しゴム板などを使う。意匠性の高い紙をちぎり、のりで装飾するツール「デコパッチ」やスクラップブックングのワーク

ショップも高い集客を誇る。販促効果を高める目的で、4月に写真のプリンターを2台導入した。導入後、数日間で約170枚プリントアウトされ、手応えを得た。

著名な作家をワークショップの講師として招いたり、若者に影響力のあるウェブサービスを活用したりする効果も大きい。SNS（交流サイト）の「インスタグラム」や「ツイッター」、画像共有サイト「ピントラレスト」を中心に利用し、若者への情報拡散を続けている。

最近では、百貨店でVMDや接客に携わってきた専門家をアドバイザーとして迎え、店作りと運営力の向上に重点的に取り組んでいる。